

令和3年度 第1回佐久市自殺対策連絡協議会 会議録

日時：令和3年7月19日（月）午後1時30分～3時

場所：佐久市保健センター2階

出席者：委員19名、事務局9名

1 開会

2 委嘱書交付 佐久市長より委嘱書交付

3 あいさつ 佐久市長よりあいさつ

4 会長・副会長選出

会長に長野県弁護士会佐久在住会弁護士 山田委員、副会長にNPO法人ウィズハート佐久ワークポート野岸の丘 新津委員が選出されました。

5 会議事項

《報告事項・協議事項》

1) 地域における自殺の基礎資料について

佐久市の自殺の実態について説明しました。

2) 佐久市自殺対策総合計画について

(1) 佐久市自殺対策総合計画の概要について

平成30年3月に策定しました「佐久市自殺対策総合計画」の概要について説明しました。

(2) 担当課における令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について

自殺対策主管課である健康づくり推進課で行っている自殺対策事業の令和2年度事業報告と令和3年度事業計画について説明しました。

(3) 佐久市及び自殺対策連絡協議会における平成2年度事業報告及び令和3年度事業計画について

庁内関係課及び自殺対策連絡協議会の各団体で行っている自殺対策事業の令和2年度事業報告と令和3年度事業計画について説明しました。

3) 新型コロナウイルス感染症に関する自殺対策の取組みについて

市の取組みの現状と取組みの方向性について説明しました。

《質疑》

○こころのほっとラインの相談内容の傾向、内容について

→家族状況や、職場・金銭問題・子育てをしている中での悩み、高齢者の親御さんについての悩みなど、多岐にわたる。

○佐久市の自殺の実態では、未遂なしが多い。突発的に亡くなってしまうという状況なのか。出典はどこか。

→男性は、一般的に未遂歴が少ない傾向がある。佐久市は男性が圧倒的に多いため、その傾向が現れていると考えられる。

厚生労働省 HP で公表されている「地域における自殺の基礎資料」を基に作成している。

○ほっとライン相談者の男女比率について

→男性が約33%と、女性の方が多い状況。

○中学校における保健師の講話の実施方法について

→学校によって、校内放送や、スクリーンを使用しての対面形式で実施している。

○電話相談をされていた方で、実際自殺に至った方はいるか。また、全く相談されずに自殺に至った方はいるか。

→電話相談された方のその後の状況を把握する方法がない。また、自殺に至った方が、相談機関等へつながっていなかった場合もある。そのため、相談先の周知や、ゲートキーパーの養成に力を入れていく必要がある。

《意見交換・情報交換》

「ゲートキーパーの役割 ～SOSを出しやすい地域作りのために出来ること～」

NPO法人ウイズハート佐久 ワークポート野岸の丘 所長 新津 薫 氏

《事務連絡》

- ・巡回労働相談、陽だまりスペースのお知らせ
- ・「心といのちの総合相談会」「ゲートキーパー養成研修会」のお知らせ
- ・次回会議 令和3年2月頃の予定

6 閉 会